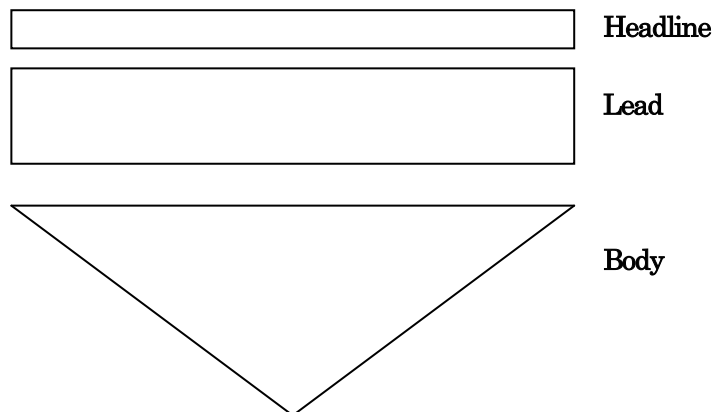


科 目		必・選	担 当 教 員	学年・学科		単位数	授 業 形 態					
時事英語 (Current English)		必	森川 寿	1 年生 メカトロニクス専攻 エコシステム専攻		学修単位 2	前期 週 2 時間					
授業概要		① 英字新聞や雑誌の読解を通して、英語読解能力の向上を図りながら、現代の日本と世界の動きを学ぶ。 ② TOEIC 関連教科書による演習を通して「聞く」「読む」の実践的英語力の養成に努める。 ③ TOEIC の団体特別受験 (IP) を実施して個々の英語力の把握と向上に役立てる。										
到達目標		① 英字新聞の記事を、辞書の助けを借りながら、すばやく要点を理解できるようにする。 ② TOEICのテスト形式に慣れ、日常生活のコミュニケーションでおおよそのニーズを充足するレベルの得点を取得する。 ③ 現代の日本と世界の政治・経済・科学の動きについて一般的な理解ができる。										
評価方法		試験 60%、小テストおよび課題 40% なお、TOEICのIP試験や公開試験で400点以上取得した場合は、評価に10点を加算する。										
教科書等		① 各種英字新聞やインターネットの記事をプリントして使用する。 ② 石井隆之 他著 <i>Perfect Practice for the TOEIC Test</i> (成美堂) ③ 早川幸治著『新TOEICテスト書き込みドリル【全パート入門編】』(ピアソン桐原)										
内 容		(1 回の自宅演習は 2 6 0 分を目処にする。)						学習・教育目標				
第 1 回	オリエンテーション、英字新聞の読み方(1) Headline の説明と演習						(自宅演習)	D				
第 2 回	英字新聞の読み方(2)、 Lead の説明と演習						(自宅演習)	D				
第 3 回	短い記事の読解演習(1)						(自宅演習)	D				
第 4 回	短い記事の読解演習(2)						+教科書Unit 1 (1)	(自宅演習)	D			
第 5 回	「社会」記事の読解演習(1)						+教科書Unit 1 (2)	(自宅演習)	D			
第 6 回	「社会」記事の読解演習(2)						+教科書Unit 1 (3)	(自宅演習)	D			
第 7 回	「社会」記事の読解演習(3)						+教科書Unit 1 (4)	(自宅演習)	D			
第 8 回	「環境・科学」記事の読解演習(1)						+教科書Unit 2 (1)	(自宅演習)	D			
第 9 回	「環境・科学」記事の読解演習(2)						+教科書Unit 2 (2)	(自宅演習)	D			
第 1 0 回	「環境・科学」記事の読解演習(3)						+教科書Unit 2 (3)	(自宅演習)	D			
第 1 1 回	「政治・経済」記事の読解演習(1)						+教科書Unit 2 (4)	(自宅演習)	D			
第 1 2 回	<TOEIC IP受験>						(自宅演習)	D				
第 1 3 回	「政治・経済」記事の読解演習(2)						+教科書Unit 3 (1)	(自宅演習)	D			
第 1 4 回	「外交・国際」記事の読解演習(1)						+教科書 Unit 3 (2)	(自宅演習)	D			
第 1 5 回	「外交・国際」記事の読解演習(2)						+教科書 Unit 3 (3)	(自宅演習)	D			

※合格ラインについて、特に記載の無いものは、60 点以上を合格とします。

News Storyの構成

新聞ニュースの記事は、Headline (見出し)、Lead (前文)、およびBody (本文)の3つからできている。Headline見出しは読者の注意を引くもので、簡潔な表現を求めて、いくつか特徴的な表現が用いられている。Leadは、記事全体を要約する。



Bodyは「逆三角形」の構成をしていて、より重要な内容が先に書かれている。すなわち、途中で読むのを止めても、ある程度重要な内容は頭に残るというわけである。

Headlineの特徴

読者の注意を引くため、省略と短縮化が最も多く使われる部分である。

- 冠詞は、原則として省略される。
(A) Long-lost wallet returns to (its) owner (長く失われていた財布が持ち主に戻る)
- Be動詞は、原則として省略される。
 - 進行形の“be 動詞＋現在分詞”のbe 動詞が省略される。
McDonald's (is) investing in Russia (マクドナルド、ロシアに投資)
 - 受動態の“be 動詞＋過去分詞”のbe 動詞が省略される。
43 (are) killed in (a) plane crash (墜落事故で43人死亡)
 - 予定・近未来を表す“be going to”のうち“be going”は省略される。つまり、不定詞は、予定や未来を表すのに使われているのである。
Noda (is going) to visit US in May (野田首相、5月に訪米)
- 現在形は、通常、過去(あるいは現在完了)を表す。
Hakuho wins (← won) Kyushu tournament (白鵬、九州場所優勝)
- コンマは、接続詞 (and) の代用
Japan, Tonga sign agreement [← Japan and Tonga ...] (日本とトンガ、協定に調印)
- 略語の多用
IMF [International Monetary Fund] (国際通貨基金)
NATO [North Atlantic Treaty Organization] (北大西洋条約機構)
- 短縮形の多用
Gov't (またはGovt) [Government] (政府)
N. Korea [North Korea] (北朝鮮)

LeadとBodyの特徴

Leadは、記事全体を要約するもので、5W1H (When, Where, Who, What, Why, How) の要素の全てが必要なものが、要領良くまとめられている。それを探して読むようにすれば記事のおおよその内容が把握できる。

Bodyが、より大事なことから始めて徐々に細かい点に移っていくということは上で述べたが、各段落の中でも、「内容の要約・要点⇒補足説明」という流れが原則になっている。読者にまず結論を伝えるというのが新聞の基本姿勢なのである。